



カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
																								
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	当面認証取得の予定はないが、今後の事業展開、社会情勢により、必要があれば取得を検討する			3.9			6	7						12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	当社パンフレットに自社農園で採れた無農薬野菜の使用を紹介している 館内案内に環境への取り組みを紹介する パンフレットに、SDGsの取り組みを記載する													12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	廃温泉水を融雪に再利用している 温泉熱源を利用したヒートポンプシステムの導入を検討している 裏山及び庭園の整備に伴う伐採木を薪ストーブの燃料として活用する予定							7.2							13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	地元のリンゴの剪定枝を串に加工したり、伐採竹を食器(竹とっくり、竹ちよこ)に活用している 敷地内の草木を料理や花材として使用している 当社の温泉は全て自然湧出で動力による採掘はしていない														12.2	13	14	15			
22	公正な 事業 慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則で定め、随時社員に伝達している																		16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	同上																			16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	コンプライアンス順守を随時社員に伝達している									8.2	9										
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	お客様の個人情報は適正、適切に管理し、随時社員に周知徹底している。																				16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	当社は業種柄紛争鉱物の取り扱いはない																				16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	今後、ゴミを出さない取組みとして納入業者に段ボールを使わないことを取引条件にしてい く予定(ゼロミッション) 市場に出せない傷リンゴなどを無駄にしないよう、地元の農家から購入している 取引業者とのパートナーシップ(いい関係づくり)を社員間で徹底している。					5				8			10			12	13	14	15	16	17
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	提供する料理についてはHACCPによる衛生管理を進めている 専門の警備会社のシステムを利用している 自然災害に備え森林の治山管理を行っている			3.9												12.4					
29	製品・ サー ビス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	当社の価値観を実践し保証していくために、「五権分立の徹底」「健全な批判精神」「主体的 当事者」は核心的仕組みである。左記共有の場として、全体朝礼(毎日)、社内全体会議 (月一回)、リトリートミーティング(年3回)の場がある。																			9	
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	自然との一体感のある施設づくり、森林を活かした遊歩道の整備							6							12	13	14	15			
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	情けと癒しの旅文化の創造による人生商品の開発提供。自然との一体感のある施設づくり、 大地の恵みである温泉、遊歩道を活かした森林療法、情けのサービス等により、今後さらに 拡大するストレス社会において、自己治癒力を高め、人間性を回帰する場となり、社会やお 客様に貢献していく。		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																							
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
																												
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域の雇用に貢献し、地消地産を推奨し、地元の取引先、地域の農産物及び加工品の積極的使用により、地域社会の発展に貢献している				4								9		11	12			14	15			17		
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地域のお祭りやイベントへの協賛、従業員の地域活動の参加を支援している				4											11					14	15			17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地域の雇用に貢献し、地消地産を推奨し、地元の取引先、地域の農産物及び加工品の積極的使用により、地域社会の発展に貢献している												8	9		11	12	13							
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	当社の価値観を実践し保証していくために、「五権分立の徹底」「健全な批判精神」「主体的当事者」は核心的仕組みである。左記共有の場として、全体朝礼(毎日)、社内全体会議(月一回)、リポートミーティング(年3回)の場がある。今後、個別面談の場を整備、充実していく。													8	9									17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	全体朝礼(毎日)、社内全体会議(月一回)などを通じて法令遵守を徹底している																							16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	SDGs推進チーム中心にSDGsに取り組んでいる。																							16	
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	SDGs宣言し、お客様、お取引先などステークホルダーに認知していただき、フィードバックしながら進化させていく。																						16	17	
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	防犯システムの整備、火災訓練、避難訓練などを定期的実施している。 食品衛生管理としてHACCPの導入を進めている。 感染症対策に積極的に対応している。																							16	
40		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	SDGsを推進し、法令遵守を周知徹底している																							16	
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	消防計画を立案作成し、火災訓練や避難訓練を実施している 緊急時における連絡体制を整備し対応している。													9		11			13 13.1				16		
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	事業の持続性の観点から経営会議や運営会議による経営課題の把握、現状認識対応策の実践のプロセスを通じ、経営理念の共有を図り、中間幹部を育成している												8	9										17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

**【記載留意事項】**

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものであっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)